

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	全体			ge	<p>箇条構成が JIS Z 8301 に整合していない。対応国際規格の FOREWORD には、Directives Part 2:2016 に合わせたと改版記事に記載されているが、Directives Part 2, Ed.7:2016 でも</p> <p>1 Scope 2 Normative references 3 Terms and definitions</p> <p>となっている。</p>	<p>TC40 で審議するとき、IEC TO などから示唆はなかったのか？</p> <p>なかった場合、今後、Directives に従うよう、セクレタリ、IEC TO の指導を強く期待する。</p> <p>JIS Z 8301 に合わせて MOD で作成しなかった理由を説明下さい。</p>	<p>この対応国際規格の審議段階では指摘はなく、こちらにも気づきませんでした。</p> <p>Z8301 の 36.3 に「対応国際規格を基礎として国際一致規格を作成する場合、対応国際規格の構成（箇条、細分箇条、段落、細別、附属書、図及び表の順序）を変更してはならない。」と記載されており IDT で問題ないと思います。</p> <p><参考情報> この対応国際規格の審議段階では指摘はなかったが、現在の進捗としては、IEC TC 40/WG40 にて、品種別通則（IEC 60384 規格群；JIS C 5101 規格群）の箇条構成が考慮されている段階である。</p>
渋谷隆 2	187	1.4.1		ed	<p>個別規格の 1.9 では分からない。改正によって箇条構成が変更されるかもしれない。</p>	<p>箇条 1.9 の題名を追記する。</p>	<p>この項目は、IECQ などの認証項目であるため、題名は追加しません。</p> <p>品種別通則（IEC 60384 規格群；JIS C 5101 規格群）でも同様な対応を取っています。</p>
渋谷隆 3	195	1.4.2		ed	<p>ミリメートルの単位を記載する方が良い。</p>	<p>ミリメートル (mm) とする。</p>	<p>同意し、修正します。</p>

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C5101-16	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 4	205 207	1.4.3		ed	振動及びバンプ又は衝撃 が (振動及びバンプ) 又は衝撃 振動及び (バンプ又は衝撃) のどちらか分からない。	表現を見直す。	同意し、「振動、及びバンプ又は衝撃」に修正します。
渋谷 隆 5	307 314 361	3.3 3.1.4 3.5.1		ed	出荷対象ロット、ロット、検査ロットの用語があるが、異なるのか。	違いがあるなら明記し、単に“ロット”の用語は用いない。	対応国際規格のままの表現であり、意味のある使い方です。また、他の品種別通則 (IEC 60384 規格群 ; JIS C 5101 規格群) と同じ記載です。 3.3 出荷対象ロットは、顧客に出荷する場合 3.4.1 ロットごとの試験は、定期的試験に対する試験を示す固有名詞です。 3.5.1 検査ロットは、実際に検査を行う場合に用いる。
渋谷 隆 6	643	4.12.3	表 15	ed	“カテゴリ上限温度が 105 °C の場合、試験は 105 °C で行われている。” は説明書きだが、要求事項ではないのか。	要求事項の表現に変更する。 情報の場合は、注記とする。 “カテゴリ上限温度が 105 °C の場合、試験は 105 °C とする。”	対応国際規格は、 If the upper limit category temperature is 105 °C, the test is carried out at 105 °C. で、shall は使われていません。IDT を優先しそのまま和訳しています。対応国際規格通りで変更なしをお願いします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C5101-16	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							次回、対応国際規格改訂時に検討します。
渋谷隆 7	703 708	A		ed	試験条件が MS ゴシック太字になっている。	MS 明朝に変更する。	強調する文字の為、そのまま強調文字とします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。